

## 『農業の経営継承ガイドブック』について

### 1 ガイドブック作成の目的

農業の経営継承は、これまで“個々の農家の問題”とされてきましたが、これから後継者を確保していくためには、誰が将来の担い手となり、地域の農業を支えていくのかについて、地域が真剣に考えるとともに、経営継承に向けた地域ぐるみの取組みを促進していく必要があります。

一方、市町村等の担当者からは、経営継承に関する相談が寄せられても、どのようにアドバイスしたら良いのか、何から始めたら良いのかよく分からないという声が多く出ていました。こうした状況に対応し、県内の経営継承に関わる支援機関・団体が、役割分担しながら力を合わせ経営継承を促進することができるよう、経営継承に係る様々な情報やノウハウ等をまとめたガイドブックを作成しました。

### 2 ガイドブックの活用について

ガイドブックは、地域において経営継承に関する相談に対応する市町村や農業委員会、JAなど支援機関・団体等の担当者の活用を想定しています。

今後、支援機関・団体の間でノウハウ等の共有が図られることにより、本県農業の担い手確保と地域農業の持続的な発展に資することを期待するものです。

### 3 ガイドブックの構成について

ガイドブックは、本編、各種ツール編、資料編の3つの章で構成し、それぞれ以下の内容を記載しています。

#### <本編>

- ・経営継承を行っていくためのポイント（検討時期、アプローチの仕方、継承の流れ）
- ・経営継承の3つのパターン、「親族内継承」、「第三者継承」、「卒農」のそれぞれの具体的な進め方
- ・特に第三者継承については、これまで事例が少ない形態であることから、メリットや注意点、マッチングのポイント等を詳しく掲載

#### <各種ツール編>

- ・経営継承相談を受け付けた際の聞き取り事項をまとめた相談カードや経営継承計画を作成していくためのロードマップの様式等を掲載
- ・経営継承契約書のひな型やパターンごとの経営継承手続き一覧を掲載

#### <資料編>

- ・山形県の人口推計や新規就農者数の推移などの関連情報を資料として掲載